

令和4年夏 子ども図書館おすすめ本

～「夏の読書カード」より～

★中学生におすすめの本★

★『ちいさなちいさな王様』

アクセル・ハツケ/作 ミヒヤエル・ゾーヴァ/絵 講談社



ある日、ふらりと僕の部屋にあらわれた、人差し指サイズの気まぐれな小さな王様。王様が言うには、どうやら彼の世界では子ども時代が人生の終わりにあるらしい。僕らのところとは違って……。

★『夜間中学へようこそ』

山本悦子/作 岩崎書店



ひよんなことから、76歳の祖母のつきそいで夜間中学へ通うことになった優菜。そこで出会った仲間たちとのかけがえのない日々……。どうして勉強するのか、なぜ学校へ行くのか。多感な中学生の目を通して描く。

★『カレーライスを一から作る』

前田亜紀/作 ポプラ社



野菜やお米や肉、塩、スパイス、さらには器やスプーンまで。カレーライスすべてを「一」から作った武蔵野美術大学関野吉晴ゼミの9ヶ月間の記録。

★『本を守ろうとする猫の話』

夏川草介/作 小学館



祖父が亡くなり、「夏木書店」に一人残された高校生の夏木林太郎。そこに、人間の言葉を話す不思議なトラネコが現れた。ネコは、本を守るために林太郎の力を借りたいのだという。

★『このあと どうしちゃおう』

ヨシタケシンスケ/作 ブロンズ新社



死んだおじいちゃんの部屋を掃除していたら、「このあとどうしちゃおう」と書かれたノートが出てきて……。死んだらどうなる？どうしたい？生きてる間に考えよう！

